

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品の名称	QC-hPL '栄研'
製品コード	E-XC73
会社名	栄研化学株式会社
本社住所	〒110-8408 東京都台東区台東4-19-9
担当部門住所	〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木143番地
担当部門名	信頼性保証統括部
担当部門電話番号	0280-56-2822
緊急連絡電話番号	0280-56-2822
FAX番号	0280-56-2422
推奨用途及び使用上の制限	測定管理用物質として使用

2. 危険有害性の要約

GHS分類	分類実施日	H25.8.22、政府向けGHS分類ガイダンス(H25.7版)を使用 GHS改訂4版を使用 混合物として分類基準に該当しない
-------	-------	--

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル	該当なし
他の危険有害性	ヒト由来成分含有 ヒト由来成分使用原料はHIV抗体、HBs抗原およびHCV抗体の検査を行い、陰性のものを使用しているが、使用の際は患者血清と同様に感染の危険性があるものとして取り扱いには十分に注意する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合製品
組成・成分	
化学名又は一般名	該当しない
別名	該当しない
濃度又は濃度範囲	該当しない
分子式(分子量)	該当しない
化学特性(示性式又は構造式)	該当しない
CAS番号	該当しない
官報公示整理番号(化審法)	該当しない
官報公示整理番号(安衛法)	該当しない
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	該当しない

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚を流水、シャワーで洗うこと。炎症を生じた時は医師の手当を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	水で十分に口の中を洗浄し、必要があれば医師の手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	
吸入	情報なし
皮膚	情報なし
眼	情報なし
経口摂取	情報なし
最も重要な兆候及び症状	情報なし
応急措置をする者の保護	情報なし
医師に対する特別な注意事項	情報なし

5. 火災時の措置		
消火剤		水、粉末消火剤、炭酸ガス、泡
使ってはならない消火剤		該当なし
特有の危険有害性		火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法		危険でなければ火災区域から容器を移動する。
		容器が熱に晒されているときは、移さない。
		安全に対処できるならば着火源を除去すること。
		適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。
消火を行う者の保護		
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置		作業の際には、必要に応じて保護具を着用する。
環境に対する注意事項		漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
		汚染された排水が適切に処理されずに環境排出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材		
回収・中和		飛散したものはできるだけ拭き取って回収し、その後多量の水を用いて洗い流す。
二次災害防止策		危険でなければ漏れを止める。
		排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策	特になし
	局所排気・全体換気	特になし
	安全取扱い注意事項	容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、また引きずるなどの粗暴な扱いをしない。
	接触回避	吸い込んだり、目、皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
	衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	安全な保管条件	特になし
	技術的対策	消防法の規制に従う。
	保管条件	光及び冷風を避けて、2～10℃に凍結させないように保管する。
	安全な容器包装材料	ガラス、ポリエチレン、アルミニウムパック、ポリプロピレン
8. ばく露防止及び保護措置		
管理濃度		未設定
許容濃度		未設定
設備対策		取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
保護具	呼吸用保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
	手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
	眼の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。
	皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。
衛生対策		取扱い後はよく手を洗うこと。
9. 物理的及び化学的性質		
	QC-hPL‘栄研’	
物理的状态		
形状		凍結乾燥品
色		白色
臭い		特になし
臭いのしきい(閾)値		情報なし
pH		データなし
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲		データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
比重(相対密度)		データなし
溶解度		データなし
n-オクタノール/水分係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし

粘度(粘性率)		データなし
粉じん爆発下限濃度		データなし
最小発火エネルギー		データなし
体積抵抗率(導電率)		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		指定の保管条件及び取扱においては安定と考えられる。
化学的安定性		指定の保管条件及び取扱においては安定と考えられる。
危険有害反応可能性		情報なし
避けるべき条件		日光、熱、湿気
混触危険物質		情報なし
危険有害な分解生成物		情報なし
11. 有害性情報		
急性毒性	経口	データなし
	経皮	データなし
	吸入:ガス	データなし
	吸入:蒸気	データなし
	吸入:粉じん及びミスト	データなし
皮膚腐食性及び刺激性		データなし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		データなし
呼吸器感受性		データなし
皮膚感受性		データなし
生殖細胞変異原性		データなし
発がん性		データなし
生殖毒性		データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		データなし
吸引性呼吸器有害性		データなし
12. 環境影響情報		
生態毒性	水生環境有害性(急性)	データなし
	水生環境有害性(長期間)	データなし
オゾン層への有害性		データなし
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		<p>廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。</p> <p>使用器具等は次亜塩素酸ナトリウム溶液(有効塩素濃度1000ppm以上、1時間以上浸漬)等で消毒。ヒト血清成分を含むのでオートクレーブ等で滅菌処理した後、廃棄物に関する規定に従って処理する。</p>
汚染容器及び包装		<p>廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。</p> <p>容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。</p> <p>空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>
14. 輸送上の注意		
国際規制		
	国連番号	情報なし
	国連品名	情報なし
	国連危険有害性クラス	情報なし
	副次危険	情報なし
	容器等級	情報なし
	海洋汚染物質	該当しない
	MARPOL73/78附属書Ⅱ及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	該当しない
国内規制	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	航空規制情報	航空法の規定に従う。
	陸上規制情報	消防法の規定に従う。
特別安全対策		情報なし
緊急時応急措置指針番号		情報なし

15. 適用法令

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されている。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認すること。

労働安全衛生法	該当しない
化審法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	該当しない
消防法	該当しない
大気汚染防止法	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない
航空法	該当しない
船舶安全法	該当しない
港則法	該当しない
道路法	該当しない

16. その他の情報

参考文献 各データ毎に記載

SDSは、品質保証書、規格書ではありません。

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも十分ではないので注意して取り扱って下さい。

また、注意事項は通常の実施を対象としたものです。特殊な取扱いをする場合には、用途・用法に応じた安全対策を施して下さい。